

哲風会通信

2017, 12 vol.72

秋があったのかなと思うほど、あっという間に寒くなりました。これから雪が降って、クリスマス、大みそか、お正月とイベントがたくさんありますね。寒さに負けず楽しんでいけたらいいなと思います



虫歯とフッ素

みなさん虫歯の予防といえば何を思い浮かべますか。よく耳にするのはフッ素という言葉だと思います。フッ素入りの歯磨きやフッ化物洗口など私達の生活に身近なものになっています。では、なぜフッ素が虫歯予防に効果的なのでしょう。

フッ素の働き

* 再石灰化を促進する

通常口の中はアルカリ性になっています。それが食事などで糖が入ると口の中は酸性になり歯が溶ける「脱灰（だっかい）」という現象が起こります。再び口の中がアルカリ性に戻ると、歯は再石灰化を始めます。再石灰化は脱灰で溶かされた歯の表面をカルシウムやリンでエナメル質の結晶を新しく形成し修復する現象です。フッ素にはその再石灰化を促進する効果があると言われています。

* 歯を強くする

フッ素が口の中にあると、歯のエナメル質と反応してさらに強いエナメル質になり、脱灰の時に溶け出しにくくなります。

* 口の中の細菌を抑える

細菌が糖を分解して酸を作り、歯を溶かします。フッ素が歯垢（プラーク）のなかにある細菌の働きを抑えてくれるので酸を作るのを防いでくれます。

定期的なケアが大事！！

フッ素は一度塗ったからといって、ずっと効果が持続する訳ではありません。定期的な歯のメンテナンスとあわせて使っていく事が大事です。小中学校では週に一度フッ化物洗口が行われています。生えたばかりの永久歯は歯の表面が弱く虫歯になりやすい時期です。この最も虫歯になりやすい時期を乗り越えるために歯磨きと一緒にフッ素を使ったケアをする事が虫歯予防に効果的です。



合同勉強会

先月、3医院合同の勉強会があり、参加しました。今回の担当は当院で、歯科診療室で起こる緊急事態について、その中でも心肺停止と神経麻痺についてのお話でした。緊急事態が起こった時どう対処すればいいのか、どんな事が起こる可能性があるのか、考える機会になり、とても勉強になりました。普段から準備してその時に迅速に動けるようにしておかなければならないと感じました。

今月の担当

みなさん、はじめまして。今年の4月からむさしデンタルオフィスに仲間入りしました、齋藤といいます。これからみなさんのお口の健康をお手伝いできたらと思います。よろしくお願いいたします。

イベントの多い冬ですが、我が家ではお誕生日の人も多く、クリスマス、年末年始、お誕生日…とず〜っと浮かれてすごしています。子供達のふところはプレゼントやお年玉でホカホカですが、親はさむ〜い季節です。(泣)



医療法人 哲風会
むさしデンタルオフィス

〒010 - 0912
秋田市保戸野通町4 - 8
TEL:018-853-8214
フリーアクセス:0800-800-8461

医療法人 哲風会
ちづ歯科クリニック

〒018 - 1605
南秋田郡八郎潟町川崎字昼寝
233 - 1
TEL:018-875-2801